

令和3年2月9日(火)
オンライン会議 (Zoom)
10時00分～10時50分

委員の出欠席は別紙のとおり

【開会】

1. 町長あいさつ

委員長をはじめ、みらい会議委員の皆様には大変ご多用なところ、またコロナ禍により大変厳しい状況の中「令和2年度 第3回たけとよみらい会議」にご参加頂きまして誠にありがとうございます。本日はコロナ禍による大変厳しい状況の中、委員の皆様には町外からご参加頂く方もみえることから、ウェブ会議の試みをさせて頂くこととしました。不慣れな面もございますが、どうぞよろしくお願い致します。

本年度は、新たに令和3年度から令和7年度を計画期間とする「第2期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めておりますが、本日は最終案をご提示させて頂きます。令和3年度は、本町の最上位計画である「第6次武豊町総合計画」がスタートする年であり、この「第2期総合戦略」についても、総合計画と施策の方向性などと整合を図り、一体的な推進をしてまいります。

とりわけ総合計画に掲げる重点施策方針のひとつに「住みよいから、住みたいまちへ」と掲げ、今後予想される人口減少社会において、これまで以上に定住者を確保するための施策を積極的かつ戦略的に推進することで、皆様から「住みたい」と言われるようなまちづくりを展開してまいります。

本日は、今年度最後のみらい会議となります。皆様にはお時間の許す限り、それぞれのお立場や専門的見地から、忌憚のないご意見を頂戴し、今後の武豊町の更なる発展のため、どうか皆様のお力添えをいただきますようお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。本日は、大変ご苦勞様です。よろしくお願いいたします。

2. 議題

(1) パブリックコメント意見募集結果について 資料1

(2) 第2期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略 最終案 資料2

【事務局】

第2期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)のパブリックコメント意見募集につきましては、12月7日から1月6日までの1か月間で実施し、1名の方から4件のご意見を頂きました。

資料1、①のご意見として、「資料2の P25 の合計特殊出生率の目標値を『1.80 に近づける』と記載しているが“近づける”に何か意図はあるのか。『1.80』でよいのではないか」とのご意見です。町の考え方として、本計画では人口減少に歯止めをかけ、本町における2060年の将来人口40,000人を維持することを目標に掲げておりますが、これを実現するためには若い世代の結婚・子育ての希望を実現させ、合計特殊出生率を2030年までに1.80へ、2040年までに2.07へ向上させる必要があります。このため第2期（2021～2025年）の目標を「1.80に近づける」と表現することで、2030年までに合計特殊出生率を1.80とする目標を強く意識付けしつつ、現状「1.36（2019年）」である合計特殊出生率の段階的な改善を図っていきたいと考えており、修正せず、原案のままとします。

続きまして資料1、②のご意見です。「資料2の P27『施策1－2－②子育てと仕事の両立がしやすい環境づくりの推進』の KPI『0・1・2歳児保育の定員数』と『児童クラブの定員数』の目標値が、それぞれ『361人』、『359人』となっているところを、それぞれ『360人』のような切りのいい数字にラウンド（端数処理）した表記にしたらどうか」とのご意見です。この2つの目標値については、個別計画である第2期子ども子育て支援事業計画に記載されている「具体的な見込み量」を元に設定しており、内容の整合性をとるため、それぞれ「361人」、「359人」という表記のまま修正せず、原案のままとします。

また、同様の趣旨のご意見として資料2の P29「施策2－1－②働き方改革と女性の活躍推進に対する意識の醸成」の KPI『企業・事業所向けアンケートにて、仕事と子育ての両立に向けた支援を行っている、と答えた企業・事業所の割合』の目標値が『61.0%』となっているところを、『60%もしくは65%』にラウンドした表記にしたらどうか」とのご意見です。この指標はアンケート調査から得られた主観的な数値であるため、施策による効果が現れるのに一定期間を要すると考えております。したがって、年約1%ずつの増加を目標とする「61.0%」の目標値のまま修正はせず、原案のままとします。

続きまして資料1、③のご意見です。「資料2の P28 数値目標の町内総生産額および、P31 の3つの数値目標の計4か所について、目標の表記が『増加』だと曖昧であるため、具体的な数字を掲げた方がよいのではないか」とのご意見です。目標の表記の仕方に関しては、前回みらい会議でも同様の趣旨のご意見を頂いておりましたので、事務局で再検討し、「増加」と記載のある4か所については具体的な数字による表記に改め、より分かりやすく目標を示すよう修正をします。

最後に資料1、④のご意見です。「計画の検証のピッチ（頻度）が明記されていないので、『毎年度実施』と記載されたい」とのご意見です。計画の進捗確認は、これまで

と同様に毎年度実施してまいりますので、資料2のP37「(2) 計画の推進と効果検証の仕組み」に、「毎年度」実施する旨を明記しました。

この他、パブリックコメント以外の修正点が4か所ございます。

1点目。資料2のP27「施策1-2-① 妊娠・出産・子育てに寄り添うまちづくりの推進」のKPI「乳幼児健診(3か月児、1歳6か月児、3歳児)の問診で『この地域で今後も子育てしていきたい』と答えた割合」について、目標値を「毎年98.0%以上」としておりましたが、基準値に合わせて「毎年98.7%以上」としました。この「98.7%」という値は高水準であります。これからもこの高い水準を維持していくことを目標とし、施策を展開していきたいと考えております。

2点目。資料2のP28 数値目標「経済センサス基礎調査で得られる町内雇用者数」を、「工業統計調査で得られる製造業従事者数」に変更しました。経済センサス調査の実施年度は、次回が令和3年度、その次が令和8年度の5年周期ですが、本計画の最終年度である令和7年度の時点で得られる最新の値が「令和3年度実施の経済センサスの値」となることから、計画の最終的な評価をする際の指標値としてふさわしくないと判断し、毎年度実施される「工業統計調査から得られる製造業従事者数」に指標を変更しました。

3点目。資料2のP30「施策2-2-①まちの駅『味の蔵たけとよ』周辺の回遊性の向上」の《具体的な事業・取組》に「まちの駅『味の蔵たけとよ』と屋内温水プールの一体利用促進」を追記しました。今後、武豊町屋内温水プールの敷地とその北側にあるまちの駅『味の蔵たけとよ』の敷地にある道路を、芝生広場の一部として取り込む工事を予定しております。このため、それぞれの施設の管理運営事業者との調整を図りつつ、利用者にとってより魅力あるイベントの開催や、駐車場の相互利用などさまざまな展開ができる可能性があることから、こちらの事業を追記しました。

4点目。資料2のP33「施策3-1-③健康で楽しく暮らせ、生涯活躍できるまちづくりの推進」のKPI「18～39歳の国民健康保険加入者のうち、あおば健診を受診した人の割合」についてですが、パブリックコメント意見募集後に基準値の数値が得られたため、基準値を「33.1%」、目標値を「毎年33.1%以上」と、新たに数字を入力しました。目標値設定の考え方ですが、年々国保の被保者数は減少しているなか令和2年度に得られた「33.1%」は比較的高い数値であると考えられることから、これからもこの高水準を維持していくことを目標にしたいと考えております。

以上、資料2に記載されている内容をもって、計画の最終案としたいと考えております。

【委員長】

ありがとうございました。それでは議題（１）、（２）について何かご意見・ご質問はございますか。

（意見・質問なし）

事務局から資料２をもって計画の最終案としたいとのことですが、委員の皆様からご賛同を頂きたいと思えます。いかがでしょうか。

（委員全員の賛同）

ありがとうございました。それでは次の議題にうつります。

（３）計画の評価・進捗管理（PDCA サイクル）について 資料 3

（４）たけとよみらい会議 第２期委員（案）について 資料 4

【事務局】

資料３は次年度以降の計画の PDCA サイクルについて図示したものです。まず【評価（チェック）】として、５月から８月にかけて前年度の KPI の実績確認や各事業担当課へのヒアリングを実施し、進捗状況の確認を行います。続いて【改善（アクション）】として、進捗状況などを踏まえて KPI や事業、取組の見直しが必要か検証を行います。

みらい会議の開催は年２回、第１回を９月頃、第２回を１０月頃に想定しており、第１回では町の人口動態の確認や計画の進捗状況の確認。第２回では次年度以降の方針確認や、必要に応じて戦略の改定を行います。

町議会への報告については、１２月の行政報告会を想定しておりますが、毎年度の進捗状況報告や計画内容の改定が生じた際には意見聴取や協議を行うなど、行政と議会が一体となって地方創生の推進を図っていきたいと考えております。

続きまして、資料４をご覧ください。現在のみらい会議委員の委嘱期間が令和２年度末までとなっていることから、これから令和３年度からの新たな委員の方を選定していきたいと考えております。これに合わせ委員の構成についても再編したいと考えており、現在１４名で構成されているところを全体で１０名とし、産官学金労言士をそれぞれ１名ずつ、住民を３名程度にしていきたいと考えております。これまで町議員の方には６名参加して頂いておりましたが、これからは行政報告会や全員協議会の場において、全議員の皆様にも毎年度計画の進捗状況の報告や、計画の改定が生じた際の意見聴取を行っていききたいと考えております。

新たに委員をお願いしていきたい住民の方としては、総合計画策定にあたり公募委

員として参加して頂いたまちづくりへの参加意欲の高い方や、今回の第2期総合戦略のポイントとなる子育て世代の方や若い世代の方、また働き方改革や女性の活躍推進といった分野に精通している企業の人事担当者の方や、経済に強い方などに参画して頂くことで、推進体制を確保したいと考えております。

今後、新たに委員をお願いする方には順次お声がけさせて頂き、夏頃を目途に調整をしていきたいと考えております。また、切れ目なく計画を推進するためメンバーは総入れ替えとはせず、現在の委員の一部の方には引き続き第2期計画の委員としてもお願いしていきたいと考えております。

【委員長】

ありがとうございました。それでは議題（3）、（4）について何かご意見・ご質問はございませんか。

【委員】

資料2のP37に計画の推進体制が記載されております。その中で「町中堅職員で構成する総合戦略プロジェクトチーム」とありますが、参加する職員は毎年度交代するのでしょうか。

【事務局】

基本的には5年間固定メンバーとしたいと考えておりますが、人事異動や担当業務等も考慮し、柔軟に対応したいと考えております。

【委員】

資料4について、第2期の委員には住民の方を増やしていくとのことでご説明があり、子育て世代の方を委員としたいとのことでしたが、具体的にどういった方をお願いをしていく予定でしょうか。

【事務局】

例えば子育て支援サークルに所属している方など、子育ての現場の声を聞ければと考えております。

【委員長】

他に無いようでしたら、本日は今年度最後の会議となりますので、委員の皆様からお一人ずつ、今後の地方創生や第2期総合戦略に対するご意見やご感想などお伺いしていきたいと思っております。

【委員】

オンライン形式での会議開催を初めて体験させて頂きましたが、非常に有効である

と感じました。町議会に関係する会議においても、法律や条例による制約がないものについては、これから導入を検討できればと思います。

【委員】

本日事務局に、合計特殊出生率が非常に高い岡山県奈義町の取組に関する資料をお渡しさせて頂きました。特に子育て支援策など積極的に進めているようですので、是非ご参考にして頂ければと思います。

【委員】

武豊町は、私が住み始めた 50 年前も「住みやすい」まちだと感じましたが、50 年経った今でも「住みやすい」ことに変わりはありません。この第 2 期総合戦略は計画期間における目標値がきちんと定められておりますので、目標値の達成に向け、施策の推進して頂ければと思います。

【委員】

来年度以降、みらい会議の委員から議員は外れることとなりますが、この地方創生に関する予算が計上されているかチェックするなど、行政と議会が両輪となって計画の推進を図っていければと考えております。

【委員】

若い人や子育て世代の方の直接的なニーズを聞ける機会があるといいと思います。そして、武豊町の施策を町外に向けて広くアピールして頂ければと思います。

【委員】

計画の策定にあたり、他の計画との整合を図り、一体的に推進を図ることが重要だとの認識を持つことができました。計画には数値目標が掲げられており、数字を意識することも大切ですが、あまり数字に囚われすぎることなく取組の改善を図っていくことも大切だと思います。

【委員】

このコロナ禍において町内の商工業者の方々も大変な思いをしておりますが、未来に向けて時代は着実に進んでいます。乗り遅れることのないよう、新しいものも積極的に取り入れていければと思います。

【委員】

計画については、いかに実現化していくかが大切だと思います。今後の人口減少社会における課題や問題を整理し、みらい会議でも共有していければと思います。

【委員】

みらい会議やパブリックコメントの意見をよく反映して頂き、しっかりとした計画を作られたと思います。次年度以降の委員には住民の割合を増やし、子育て世代の方などの声を聞きたいとのご説明もありました。これからの若い世代の方も積極的にまちづくりに参画して頂ければと思います。

【委員】

今後、屋内温水プールの建設事業も進み、地域交流センター周辺も人の往来が増えると思われます。自分は防災に関する活動をしておりますが、地域や町のために、課題解決の意識を持ちながら継続して取組をしていきたいと思っております。

【委員長】

ありがとうございました。最後に私からですが、第2期総合戦略の策定にあたっては、アンケート調査等による現状分析から、みらい会議、パブリックコメントでの意見聴取など、事務局の方々には前向きにご対応して頂けたと思います。先ほどもお話がありましたが、計画倒れにならないよう、来年度以降はしっかり実現に向けた話し合いができればと思います。これからも是非ご協力させて頂きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひします。

【町長あいさつ】

本日は、各分野に精通しておられる皆様ならではの多角的なご意見を頂いたことにお礼を申し上げます。このたけとよみらい会議は平成27年に設置がされ、これまでに改選等もございましたが、委員の皆様方には6年間の長きにわたり、本町の地方創生に対しご協力頂きましたこと、感謝申し上げます。

前回開催された第2回たけとよみらい会議で、加藤委員長から「マルチパートナーシップ」という言葉をご紹介頂きましたが、地域の課題解決を図るには多様な主体との連携が極めて重要である、と言われております。今後とも委員の皆様には、あらゆる場面において引き続き町政に対するお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

【閉会】